

2 漁業生産の拡大

現状・課題

- 海面及び内水面において自然環境の変化等の影響により漁獲量が減少しているため、資源増殖・管理や漁場環境の保全などの取組が必要です。
- 一元的な補助制度では多種多様な水産業の成長産業化（収益性の高い産業などへの転換）や漁場環境の変化への対応を推進することが難しく、また、漁船や漁具等が高額で漁業者の負担が重いため、自由度の高い支援が必要です。
- 漁港等生産基盤の維持のため、浚渫や施設の修繕、改修を行っていますが、施設の老朽化が進んでいるため、長寿命化計画に基づく計画的な改修が必要です。
- 漁業者数の減少に伴って漁港の利用度が低下する一方で漁港の維持管理経費が増加しているため、漁港の機能再編や未活用区域での増養殖事業及び6次産業化での活用などが必要です。

【漁獲量の推移】

(単位：トン)

	基準期間 H27～H29	第2次計画期間				基準期間と R4の比較
		R1	R2	R3	R4	
漁獲量	2,794	2,530	2,688	2,266	2,224	80%に減少
底曳網	1,062	1,279	1,124	1,125	1,101	104%に増加
イカ釣り	62	53	183	32	133	215%に増加
定置網	795	363	678	408	333	42%に減少
延縄	170	108	103	91	76	45%に減少
カニ簞	424	444	360	394	380	90%に減少
その他	281	282	240	217	220	78%に減少

出典：山形県漁業協同組合の漁獲年報

※R4年度 本市の漁獲量上位魚種

- | | | | |
|-----------------|----------------|-------------|-------------|
| 1 紅ズワイガニ 380 トン | 2 スルメイカ 350 トン | 3 タラ 322 トン | 4 タイ 182 トン |
| 5 ブリ、イナダ 113 トン | 6 サケ 98 トン | 7 アジ 82 トン | 8 紅エビ 68 トン |

施策の方向性

- 海面及び内水面における資源増殖・管理や漁場環境保全を推進するため、漁業者等によるふ化や稚魚放流、藻場や産卵場等の造成などの取組を支援します。
- 漁具や漁船、設備の整備を進めて漁業の成長産業化を図る、また、漁場環境の変化に対応するため、漁業者等による意欲的な投資活動をオーダーメイド型補助金で支援します。
- 漁港施設を適切に維持管理するため、修繕、清掃、浚渫などを適切に行うほか、漁港の長寿命化計画を策定して計画的な改修を進めます。
- 利用度の低い漁港施設の有効活用を図るため、関係機関団体と連携して、漁港の機能再編や余剰区域での増養殖事業及び6次産業化での活用に関する意見交換、調査を行います。

数値目標

■漁獲量

【方向性】令和4年度実績の水準（2,200トン～2,300トン）で維持させます（単位：トン）

第2次計画 実績	2015-2017 現状	2019 H31, R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5
	2,794	2,530	2,688	2,266	2,224	集計中
第3次計画 目標	2022 直近実績	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10
	2,224	2,257	2,273	2,289	2,304	2,318

【出典】山形県漁業協同組合の漁獲年報

※第2次鶴岡市総合計画の水産の成果指標(KPI)である漁獲額と魚価から割り出した数値を数値目標とします。

※海水温上昇による漁場環境の変化への対応策が確立されていない状況のため、R4 実績の水準 2,200～2,300 トンの維持を当面の目標とします。

具体的な取組み

項目・内容	実施年次				
	6	7	8	9	10
(1) 漁具、漁船、設備整備の推進					
◎ 漁業者等による漁獲量増加や品質向上、安定出荷、安全性向上等に向けた投資活動や、仲買人による流通の安定化に向けた投資活動をオーダーメイド型補助事業で支援します（県と連携） <ul style="list-style-type: none"> ・がんばる水産業応援事業 【市】、漁業者の生産性向上等に向けた設備投資の補助, 補助率 50%, 上限 600 万円 ・水産業成長産業化支援事業 【県・市】、漁業者の生産性向上等に向けた設備投資の補助, 補助率 50%, 上限 600 万円 	○	○	○	○	○
(2) 資源増殖・管理の推進 ①海面					
○ 漁業者によるアワビ、ヒラメ、トラフグ等の種苗放流を支援します（県漁協・県と連携） <ul style="list-style-type: none"> ・アワビ種苗放流事業 【県漁協・市】、アワビ種苗約 15 万個の放流に取り組む漁業者の補助, 補助率 50% ・栽培漁業地域展開促進事業 【県漁協・県・市】、ヒラメ約 5 万尾とトラフグ約 1 万尾の種苗放流に取り組む漁業者の補助, 補助率 80% 	○	○	○	○	○
県によるイワガキ等増殖礁の整備を推進します（県と連携） <ul style="list-style-type: none"> ・水産環境整備事業 【国・県・市】、負担率 国 50%, 県 40%, 市 10% 	○	○	○	○	○
漁業者による藻場再生や保全活動等を支援します（県と連携） <ul style="list-style-type: none"> ・水産多面的機能発揮対策推進事業 【国・県・市】、負担率 国 70%, 県 15%, 市 15% 	○	○	○	○	○
(2) 資源増殖・管理の推進 ②内水面					

<p>○ 内水面漁業団体によるアユ、サクラマス等稚魚放流を支援します（県と連携）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内水面漁業振興事業 【市】，稚魚放流に取り組む内水面漁業団体の補助，補助率 25% ・大鳥地域淡水魚活性化事業 【市】，稚魚放流や環境保護等に取り組む赤川漁協の補助，定額補助 ・川と海の環境保全支援事業 【県】，稚魚放流を支援する市の補助，補助率 25% 	○	○	○	○	○
<p>○ 内水面漁業団体によるサケの採捕・ふ化・放流事業を支援します（県と連携）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内水面漁業振興事業 【市】，資源増殖に取り組む内水面漁業団体の補助，補助率 25% ・川と海の環境保全支援事業 【県】，資源増殖を支援する市の補助，補助率 25% ・サケ稚魚買上げ事業 【県・市】，内水面漁業団体が生産するサケ稚魚の買上げ，買上げ単価 2.76 円/尾 	○	○	○	○	○
<p>○ 内水面漁業団体による環境整備や漁場管理活動等を支援します（県と連携）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内水面漁業振興事業 【市】，環境整備に取り組む内水面漁業団体の補助，補助率 25% ・川と海の環境保全支援事業 【県】，環境整備を支援する市の補助，補助率 50%（放流効果向上事業のため） 	○	○	○	○	○
(3) 漁港の適切な維持管理					
<p>○ 漁港施設の改修工事・維持管理修繕及び泊地浚渫を実施し、長寿命化計画を策定します（県漁協・国・県と連携）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市管理漁港 油戸漁港、三瀬漁港、鈴漁港、暮坪漁港、温福漁港、大岩川漁港、小岩川漁港、早田漁港 ・県管理漁港 由良漁港(白山島 船外機溜り含む)、小波渡漁港、堅苔沢漁港、米子漁港 ・県管理港湾 金沢港、加茂港、今泉港、鼠ヶ関港 	○	○	○	○	○
<p>◎ 漁港の機能再編や、蓄養、養殖、6次産業化施設等での活用を検討します（県漁協・国・県と連携）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用度の低い漁港の機能再編や、既存施設の蓄養、養殖、6次産業化施設等での活用を検討、調査 【県漁協・国・県・市】，随時，具体的な方針を策定して関係者との調整ができ次第事業化に移行 	○	○	○	?	?

※具体的な取組みについては、5ヶ年間を記載し、毎年見直しを行います。